

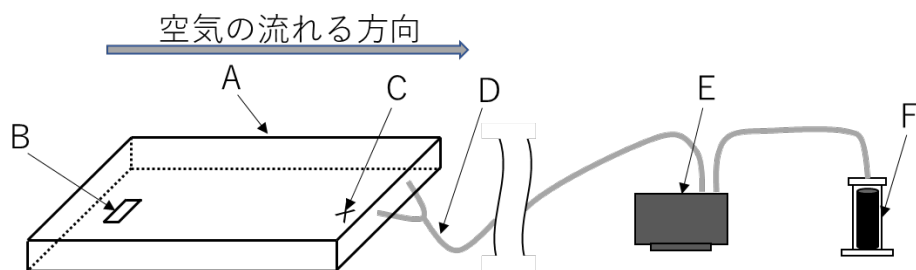
# ヒメアカカツオブシムシ用 フェロモントラップの捕獲能力

## 成果の特徴

- ヒメアカカツオブシムシは日本への定着が確認されていない検疫有害動物であるとともに、中国への米輸出の際にトラップによるモニタリングが義務づけられているカツオブシムシ類3種のうちの一つです。
- 新たに開発したトラップと既存のトラップの捕獲性能を比較し、新たに開発されたトラップの性能が高いことを確認しました。



上：新たに開発したトラップ（トラップT）、下：既存のトラップ（トラップD）



A：プラスチック製容器，B：トラップ設置場所，C：ヒメアカカツオブシムシ雌成虫投入地点，D：シリコンチューブ，E：真空ポンプ，F：フェロモン吸着用の活性炭を入れた容器

48時間後のヒメアカカツオブシムシ雌成虫の捕獲数（n=10）

トラップ本体と誘引剤の組み合わせ	捕獲数 <sup>1)</sup>	捕獲率(%)
T本体+T誘引剤	44.4 ± 1.4 a	88.8
D本体+T誘引剤	42.1 ± 1.0 a	84.2
T本体+D誘引剤	37.5 ± 1.8 ab	75.0
T本体	32.3 ± 2.8 bc	64.6
D本体+D誘引剤	29.3 ± 2.1 c	58.6
D本体	20.0 ± 1.8 d	40.0

1) 50頭中の捕獲数

## 成果の活用

本研究成果は、穀物倉庫での貯蔵食品害虫のモニタリングの際に利用が可能です。

### 参考文献

今村ら（2019）ヒメアカカツオブシムシに対するフェロモントラップ2種の捕獲性能の比較。都市有害生物管理，印刷中。